

The Materials Research Society (MRS) Spring Meeting 2026 での研究発表



目で見る
海外論文発表

水上景登*

Presentation at the MRS Spring Meeting 2026

Key Words: Perovskite, Chiral, Semiconductor

＜参加会議名＞ Materials Research Society, 2026
Spring Meeting

＜開催場所＞ Honolulu, Hawaii, United States

＜渡航期間＞ 2026/04/26 ~ 2026/05/1

＜発表タイトル＞ Structural Chiral Transfer and
Its Impact on Crystal Symmetry and Functional
Properties in Hybrid Perovskites

このたび、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルルにて開催された Materials Research Society Spring Meeting 2026 に参加し、口頭発表を行いました。本学会は、1973 年に設立された材料科学分野を代表する世界最大規模の国際学会の 1 つです。今回は約 6000 人が参加し、最先端の機能性材料、エネルギー変換材料、量子材料に関する成果が数多く報告されました。また、人工知能 (AI) を活用したセッションも多数設けられており、物質科学研究へ AI を積極的に導入する近年の動向を実感しました。

私は、カイラル分子を内包した有機・無機ペロブスカイト半導体における光・電気・熱特性に関する研究を行っています。本会議では、本来は非カイラルな無機物に、カイラル分子のカイラリティがどのように伝わるのか、そのメカニズムについて報告しました。さらに、格子振動のカイラリティについても発表を行いました。発表では、著名な研究者から多くの有意義な質問をいただき、今後必要となる測

定や解析に関する助言を得ることができました。

私の材料系とは異なりますが、エネルギーバンドにおける電子スピンの分裂状態の観測に成功しているドイツのグループの発表を聴講しました。本研究対象の材料系においても、類似したスピン分裂が発現すると理論的に予測されていることから、発表後には測定技術に関する議論を行い、今後の国際共同研究の可能性について意見交換を行うことができました。

最後になりましたが、本発表にさいして、ご支援いただきました生産技術振興協会に深く御礼申し上げます。



図1. 口頭発表の様子

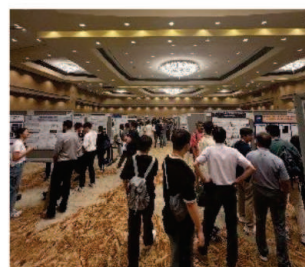


図2. ポスター会場の様子



図3. 学会会場の様子



* Keito MIZUKAMI

2001 年 10 月生まれ
大阪大学大学院 基礎工学研究科 物質創
成専攻 博士前期課程 (2026 年)
同年、ダブルディグリー制度によりユーストス・リ
ービッヒ大学ギーゼン修了
現在、大阪大学大学院 基礎工学研究科
物質創成専攻 博士後期課程
修士 (工学)
TEL : 06-6850-6433
E-mail: mizukami@molelectronics.jp